

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 4 年 3 月 31 日

事業所名 療育センターももっこ

保護者等数（児童数） 29 回収数 18 割合 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・室内レイアウトを大きく変える事はないと思いますが、定期的に保護者が内観できる機会を設けてもらえるとうり評価出来ると思います。 ・外での活動も多く本人も喜んでいます 	利用時に参観できるような機会をご案内していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17			1		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1		3		利用して下さるお子様に合わせて安全面等更に配慮していきます。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17			1	月1回の支援の中で本人の特性が出にくくもどかしさも感じている。	限られた利用の中で、ご本人やご家族のご意向を踏まえた活動になるよう、それぞれの目標を意識し活動を展開していきます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1		2		色々な活動体験が出来るよう工夫していきます。
保護者への説明等	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					
	7	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	18				連絡帳アプリの活用により更に意見のすり合わせは可能だと思います。	
	8	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1			どうしても、あいまいな助言にとどまりもっと踏み込んだアドバイスが欲しい時がある	
	9	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	3		2	<p>①勤務の関係で中々参加出来ず、父母会の活動が分かりませんが、機会があれば参加したい。</p> <p>②場を設けても、伝えきれない人は必ずいます。ガス抜きのための雑談の場を設けるのか、助言を求める人のための時間を作るのか、親同士のコミュニケーションは抱えているものが大きいので定型の家庭より難しいと考えます。</p> <p>③私自身が中々参加出来ずですが、参加してみたいなと思っています。</p>	参加しやすく、また目的に沿った会の設定に努めていきます。

		チェック項目	はい	どちら とも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1		3		
	11	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					
	12	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	5		2	HP等あまり利用しておらず確認してみようと思います。	法人全体でフェイスブック、インスタグラム、ツイッターでの情報発信をしています。
	13	個人情報に十分注意しているか	17	1				
非常時等の対応	14	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	4	1	4		情報発信の方法、頻度を検討し実施していきます。
	15	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	4	1	8		玄関掲示スペースに、訓練等の実施状況を貼りだしていますが、見やすい掲示を行っています。
満足度	16	子どもは通所を楽しみにしているか	18				家庭で出来ない体験をする事を楽しみにしています。	
	17	事業所の支援に満足しているか	17	1			①未就学の頃から継続してサポートして下さる事がありがたいです。 ②長年、親子共々心の支えになって頂いています。迷った時しんどい時、親身になってお話を聞いて下さってとてもありがたいです。 ③内容は良いが参加日が少なく残念	・月に一回のご案内で申し訳ございません。次回の活動内容のお知らせ等、安心して通っていただけるよう心がけ、楽しんで取り組める活動内容になるよう努めていきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 3 月 31 日

事業所名 療育センターももっこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			コロナ禍に伴い、共有空間の使用頻度が少ない現状ですが、現状を踏まえた活動内容、場所等の工夫を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切である	4			基準配置数に加え、子どもの特性に合わせて加配職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			高齢者施設の建物内の為、床面はすべてフラット構造になっています。利用して下さるお子様の様子に合わせて改善出来る設備は改善を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			引継ぎ、毎月の運営会議で、業務の改善に向けて取り組んでいます。パート職員へも引継ぎが伝達出来るよう更に工夫して参りたいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			年1回、評価表のアンケートで頂いたご意見は、職員全体で共有し、改善するよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		3	法人内で実施しているサービス向上委員会で評価の機会を設定しています。このことについて現場職員の周知に努めています。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			コロナ禍で研修への参加も難しい状況ですが、オンラインでの研修の機会、法人アドバイザーの大学教授を招いての研修や、関連事業所との行動研修を実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			利用時に保護者からのご意見等を伺い、計画に反映できるよう意識をしております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		1	3	必要に応じて使用していますが、更なるツールの活用に向けて研修などへ参加、検討してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			担当者が立案し、共有できるよう会議等で話し合っています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			過去のプログラムを確認し、重複しないよう様々な体験をして頂けるよう配慮しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			時間に応じた内容を、月ごとに設定し実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1		3	個々の状況に応じて計画しているが、個別の課題目標による活動や集団活動で参加する活動を組み合わせ実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			日々の業務の中で確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			限られた勤務体系の中で、共有すべき事項を確認しあえるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		記録をとることの意識をもつ事は出来ていますが、勤務時間内での記録時間の確保については検討が必要であり、支援に繋がる記録の取り方が出来るよう改善に努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			毎月の運営会議で状況の変化等検討しあい、支援、計画に反映しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			過去のプログラムを確認し、重複しないよう様々な体験をして頂けるよう配慮しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	1	管理者・児童発達支援管理責任者にて対応しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	1		3	学校での様子は保護者から伺い、家族が中心となり調整を行っている現状です。 新1年生については、平日の受け入れに伴い、事前に下校時間等を確認し、受け入れの体制や活動内容を検討しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	2	該当者がいませんが必要に応じて行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		1	必要に応じて、情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当無し (利用対象を限定しているため)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	2	助言や研修への参加が出来る機会を増やしていきます。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			情報収集に努めたいと思います。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			送迎時や連絡帳、面談でのお話を大切にしています。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			4	ペアレント・トレーニング等の支援の実施は行えていませんが、茶話会を実施し、外部講師からの意見等を伺える場を設定しました。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に説明を行っています。
保護者への説明責任等	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			送迎時に療育内容を伝えるだけでなく、保護者の悩みも引き出すような言葉がけを意識しています。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3			茶話会を定期的に開催しています。引き続き保護者の方同志で情報共有がしやすくなるようにサポートしていきます。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情の体制について、契約時に説明を行っています。苦情に限らず保護者にとって困った事があった場合は、スムーズに対処できるようにしています。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		1	法人会報の配布に加えて、SNS発信ができるようになりました。個人情報に留意しながら活動内容が発信できたと思います。次回の活動内容を連絡帳へ記載してお伝えしています。
	34	個人情報に十分注意している	4			法人として、個人情報について厳重に管理しています。肖像権使用についても、個別に文書で確認しています。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	当事業所としての実施は行えていませんが、法人全体として取り組んでいます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2	1	保護者の方へわかりやすく提示ができるように工夫し、保護者、職員への周知に努めます。
非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			年間計画に沿って、計画的に実施していますが、放課後等デイサービス想定の実施出来ていないため、今後、検討を行っていきます。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			法人内で人権、虐待防止研修を行なっています。研修で得た事を職員間で共有できるよう会議の場で報告出来るようにしています。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	1	契約時に説明し、職員にも周知していきます。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			アレルギー対象者は把握できるよう表に記し、確認しています。年度代わり等での再確認を行っていきます。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒヤリハットに値する事例かを職員それぞれが意識し、報告資料を作成し回覧し共有しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。